

## 地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会 第 15 回委員会議事録（案）

場 所：地盤工学会会議室

日 時：2011 年 1 月 11 日 14:00～17:00

出席者：日下部委員長，大久保幹事，正垣委員，大日方委員，岩崎委員，大里委員，上野  
オブザーバー，岸田オブザーバー，渡部オブザーバー，稲垣オブザーバー，伊藤

欠席者：石井委員，伊奈委員，兒島委員，中山委員，笹倉委員，薦田委員，小嶋委員，西  
田委員，外狩委員，大和オブザーバー

### 1. 委員会審議事項

#### 1) 前回議事録の確認（伊藤幹事） 資料 15-2

- ・ 議事録案にて了承された
- ・ 科研費の報告書については，報告書の作成は必要。講座の前段階の資料で報告書を作成しようと考えている。
- ・ 書籍については，講座が終わってから検討する。
- ・ シンポジウムについては，今年度中に一回打ち合わせをしたほうが良いかもしれない
- ・ 防災科研所長岡田先生の講演会で  
 $\text{Disaster} = \text{Hazard} \times \text{Vulnerability}$ （脆弱性）／ $\text{Management}$   
という式を示していた。リスクとリスクマネジメントをつなげるという面で分かりやすいと感じたので，1 章に全体の概念として記載していければと考えている。（日下部委員長）

#### 2) 地盤工学会誌の講座執筆について

- ・ 日下部委員長から，章構成について修正案があり，以下のように決定した。
  - 1 講座をはじめるにあたって
  - 2 リスクとリスクマネジメント
  - 3 地盤リスク対応の現状と地盤工学の役割（旧 4 章）
  - 4 自然災害・法令・社会情勢等の動向と地盤リスク（旧 3 章）
  - 5 タイトル未定 保険・補償（旧 6 章）＋法律（旧 7 章の 7.3 まで）
  - 6 裁判事例から見た地盤リスク（旧 7 章の 7.4 以降）
  - 7 契約と地盤リスク（旧 5 章）
  - 8 おわりに
- ・ 上記の構成に沿って各章の進捗状況について担当執筆者から説明があり，下記のようなコメントがあった

タイトル	執筆担当	資料 No
2 リスクとリスクマネジメント	大日方・正垣	15-3-1 ～3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2.5 地盤リスク 地盤の不確かさはどこから起因するのかという記載にしたほうが良いのではないか？</li> <li>・ 定義した「地盤リスクマネジメント」を 2 章でどこかに記載したほうが良い</li> <li>・ 政策化・法制化という用語が良く分からなかった。つながりについても配慮</li> <li>・ 10 頁右下 2 行目 期生→規制 誤字</li> <li>・ 13 頁右側「予期せぬ地質条件変化への対応」<u>だけであった</u>。“だけであった”ではなく“が含まれていた”にしたほうが良いのでは？</li> <li>・ リスクの定義については、1 章で提示して、詳細は各章に振るようにする</li> <li>・ 2.2.3 は正垣先生のところに持っていく</li> <li>・ 図 2.1, 表 2.1 は前回議事録委員会では出てくるのが早いという話であったが、どうするか？</li> <li>・ 2.4 と 2.5 をもう少しリンクして欲しい。</li> <li>・ 2.3 は図を使って簡略化</li> </ul>		
3 地盤リスク対応の現状と地盤工学の役割	中山・笹倉・正垣・大里・西田・伊藤	15-5-1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 35 頁左側 「損害賠償訴訟に関連するような・・・あると考える」は、判例での検討がされているので、それを誘導するような構成に変更してもらいたい。</li> <li>・ 31 頁の事例は、地質リスク学会の事例研究発表会での報告が多いので、何処かに地質リスク学会の記載があってもよいのでは？</li> <li>・ 「地質リスク」という用語が唐突に出てきている。地質リスク学会で定義されている「地質リスク」をリファーしたほうが良い。</li> <li>・ とても読みやすいが、リスクの意味があいまい。混在している。</li> <li>・ PFI はこれ以降扱っていないので、</li> <li>・ 4.2.1 が 2 章の定義とあっているか？</li> <li>・ 技術者資格制度で 2 章の政策化と連携できるか？</li> <li>・ 32 頁 ②事業段階分類の箇所が、「～～～回避する」が 4 つ続いていて読みづらい。</li> <li>・ 33 頁 左側下「リスクコミュニケーションが回避されている」が分からない。</li> <li>・ 脆弱性についての記載が無い</li> <li>・ 地質リスクの図面は 4.3.2 に入れたらよいのではないか？</li> <li>・ 前段に BCP など入れてもよいのでは？</li> <li>・ 4.2.2 は細分化されているイメージがあるので、調整して欲しい</li> <li>・ 「災害」「防災」が唐突に出ているように感じるので、出し所を考える</li> <li>・ リスクについて「お金」と「安全性」の話が混在しているように感じた</li> <li>・ 講座の論点は「不確かさを低減する」ではないか？</li> <li>・ ソフトとハードが書かれており、2 章にソフトを持って行って、3 章はハードだけ</li> </ul>		

に絞るなど、検討する。ソフトの詳細は、後ろの章（法律・保険・契約）に任せ  
たほうがよい

- ・参考文献に合宿資料が入っているが、公開できるものにしたほうが良い
- ・表 4.2 と文章がリンクしていないので、リンクしたほうが分かりやすい
- ・「リスクの低減」という用語については ISO・JIS の定義を考えると合致しない

4 自然災害・法令・社会情勢等の動向と 地盤リスク	正垣・西田・大里・笹倉・中 山・伊藤・上野・外狩	14-4-1 ~2
------------------------------	-----------------------------	--------------

- ・法令との調整の返事が無い
- ・中部・関西・四国から返事が無い
- ・「異常降雨」と「長雨」の定義は？
- ・図 3.2 の「異常降雨」と「長雨」を隣に動かせば、雨による影響という読み方ができるが、離れていると全く違うものに見える。
- ・表 3.7, 3.8 「リスクの内容」→「リスクの対応」
- ・この文献 DB は委員会発足当初に作成されたもので、リスクの定義が前のものになっているが、一番近い表現に変えられればと思う。
- ・18 頁右側 地盤リスクに関する動き →地盤リスクに関する研究の動き
- ・24 頁の未完部分はいつごろまとまるか？→他支部から情報が無ければ関東支部だけでまとめる
- ・提言はどのようなものを考えているのか？→学会として行政等に動ければと考えているので、そのようなことを書きたい

6 裁判事例から見た地盤リスク	【著者未確定】 大久保・薦田・伊藤・小嶋・ 稲垣・伊奈・石井	15-8-1 ~3
-----------------	--------------------------------------	--------------

- ・旧 7 章の 7.4 以降について独立
- ・7.5.5 と 7.5.2 は統合・調整する
- ・法律用語は難しいので、薦田先生のアドバイスを受けながら分かりやすくしていく
- ・正確性も大事なので注釈で記載する
- ・7.5 は 5 章（旧 7.3）のどの類型なのかを記載する
- ・7.5 は判例ごとに片カッコなどで分離
- ・7.5 は図面があれば分かりやすい
- ・54 頁 検索したキーワードは順番を変えたほうが良い
- ・7.4.3 は既に手持ちがあるのか？→傾向は全て同じだが、事件区分だけ違う傾向を示している
- ・リスクの種類 「地盤リスク」と「地質リスク」の定義を明確にする→定義と合致しているかを全部確認する
- ・判例 DB・文献 DB について講座が開始される時期に公開できればよい→著作権の問題も含めて検討する
- ・現在の設計指針と技術レベルについての記載もしたほうが良いのではないかと

7 契約と地盤リスク	岩崎・大日方・岸田・渡部	15-6-1
<ul style="list-style-type: none"><li>・ GBR の訳は「地盤工学ベースライン報告書」で OK か？工学はいるのか？→翻訳した本は「地盤工学ベースライン報告書」になっている。</li><li>・ デザインビルドが設計施工一括発注方式とあるがどちらが良いか？</li><li>・ マニュアル技術者について、哲学的にはなるが何処かにいれられないか？</li><li>・ 42 頁 表には維持管理も入れがほうが良いのではないか？</li><li>・ GBR はもう少し広げられないか？</li><li>・ 42～43 頁の羽田空港 D 滑走路が 7.5 度傾いたことについては何か書けないのか？</li></ul>		

- ・ 各章の節の記載方法について

各章は

1. はじめに

.....

X. まとめ

としたらどうか？

- ・ タイトルと著者について

下記のように決定。

1 講座をはじめるにあたって

日下部

2 リスクとリスクマネジメント

大日方, 正垣

3 地盤リスク対応の現状と地盤工学の役割 (旧 4 章)

中山, 笹倉, 正垣, 大里, 西田, 伊藤

4 自然災害・法令・社会情勢等の動向と地盤リスク (旧 3 章)

正垣, 西田, 大里, 笹倉, 中山, 伊藤, 上野, 外狩

5 タイトル未定 保険・補償 (旧 6 章) + 法律 (旧 7 章の 7.3 まで)

日下部, 伊奈, 蔵田, 薦田, 稲垣, 大久保

6 裁判事例から見た地盤リスク (旧 7 章の 7.4 以降)

著者・順番については再考する

稲垣, 大久保, 伊藤, 薦田, 小嶋, 伊奈, 石井

7 契約と地盤リスク (旧 5 章)

岩崎, 大日方, 岸田, 渡部

8 おわりに

日下部

各章, 担当者を決めて 8 ページ&参考文献などの体裁調整を行い, **2月25日**までに伊藤まで提出していただく。

必要があれば、各章の担当者が集まり調整することも必要。

日下部委員長と伊藤で最終チェックし、3月初めには会誌部のほうへ投げる。

投げる場所については、講座小委員会関係の方にあたる。

2月7日くらいに「講座をはじめるとにあたって」と「6章」をメールで送るので  
1週間程度で意見をもらい、最終的な形とする。

講座がまとまれば書籍やシンポジウムについて話を始める。

3) 次回委員会の予定（第16回目以降の日程）

第16回 3月15日 15:00～ 17:00

第17回 月 日 : ~ :

2. 配布資料

議事次第

資料15-1. 議事次第

資料15-2. 前回議事録（案）

資料15-3. 2 リスク学とリスクマネジメント 関係資料

資料15-4. 3 自然災害・法令・社会情勢等の動向と地盤リスク 関係資料

資料15-5. 4 地盤リスク対応の現状と地盤工学の役割 関係資料

資料15-6. 5 契約と地盤リスク 関係資料

資料15-7. 6 保険と地盤リスク 関係資料

資料15-8. 7 法と地盤リスク 関係資料

以上